



Futtsu

議会だより

No.140

平成19年2月9日
Winter 2007

発行／千葉県富津市議会

編集／千葉県富津市議会 議会広報委員会

〒293-8506 千葉県富津市下飯野2443

Tel. 0439-80-1331 Fax. 0439-80-1350



昭和43年(1968) 湊川鉄橋を渡るC57の勇姿

撮影:菅原譲太郎

「ちばDC」進行中!



市内大森の菜の花

2月から4月末までの3カ月間、千葉県内は「ちばDC(デスティネーション・キャンペーン)」で賑やかです。県外からも多くの観光客が訪れるこの期間は、富津の良さをアピールする絶好のチャンスです。

12月定例会の内容 …………… 2・3P

個人質問(11名) …………… 4～9P

政務調査費について …………… 9P

総務・教育福祉視察 …………… 10P

建設経済視察・澗口議員研修 … 11P

新春行事・定例会日程 …………… 12P

12月定例会は、12月1日から20日までの20日間の日程で開催されました。議案16件、陳情6件について審議を行い、最終日の12月20日に全ての審議が終了しましたので、その内容を報告致します。

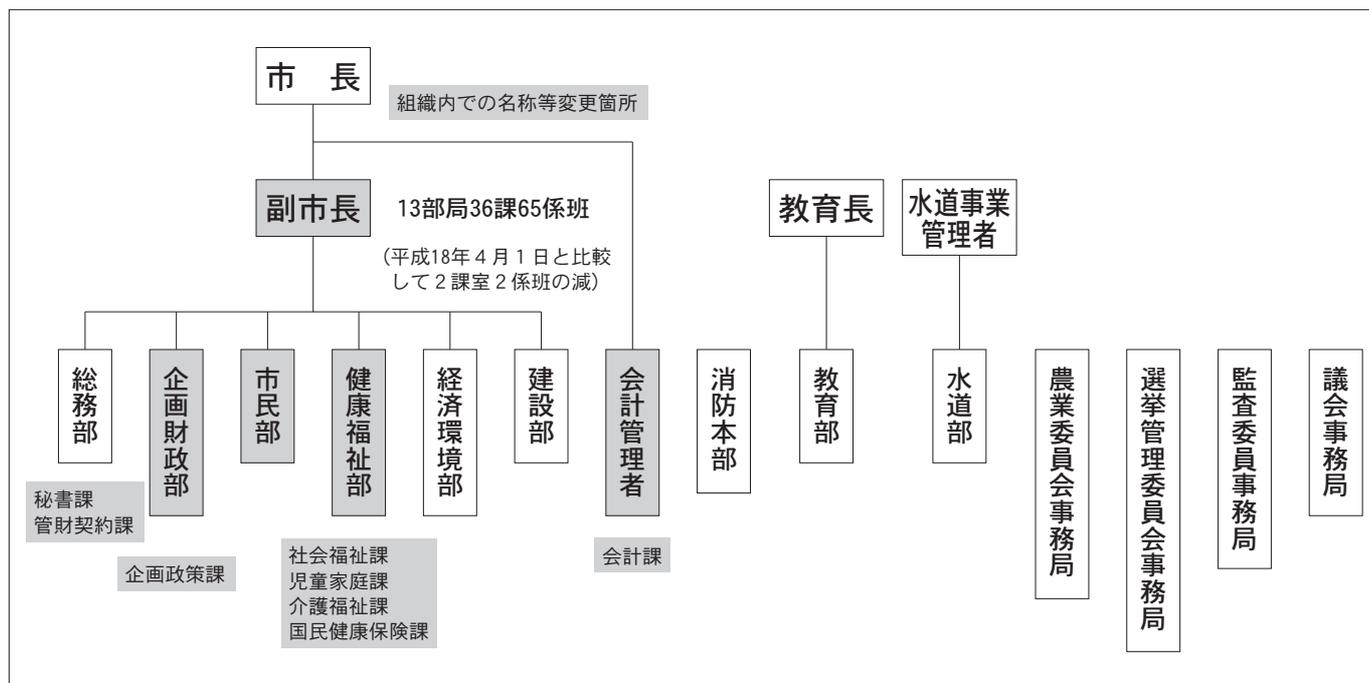


自治法改正により副市長制度に変わります

助役制度から副市長制度への見直し等を内容とする地方自治法の一部を改正する法律が、平成19年4月1日に施行されます。

定例会において、自治法改正に伴う議案（副市長定数、収入役を会計管理者に改める、組織の改編等）が提案され、審議の結果全員賛成で可決されました。

◆平成19年4月1日から下記の行政組織になります



◆陳情・請願件名	採決結果
JR内房線等における各種問題の改善を促す陳情書	継続審議
「格差社会」を是正し、庶民増税の中止と社会保障の拡充のため国への意見書採択を求める陳情書	不採択
療養病床の廃止・削減と患者負担増の中止等国への意見書採択を求める陳情書	不採択
介護保険制度改善・拡充のため国への意見書採択を求める陳情書	不採択
障害者の福祉・医療サービス利用料の「応益（定率）負担」を見直すよう国へ意見書の提出を求める陳情書	継続審議
大堀「山ノ台地区」住環境に関する陳情書	採 択

※山ノ台地区の状況



山ノ台付近地図
二間塚大堀線
閉鎖された踏切



踏切が閉鎖されたため、
新たな問題が発生した



二間塚大堀線周辺の整備

平成18年12月 定例会

富津中学校校舎改築工事の請負契約が可決されました

12月定例会最終日に追加議案（富津中学校校舎改築工事の請負契約）が提案されました。

12月4日に行われた入札結果が報告され、発注形態及び内容についての質疑、そして本議案に対する賛成及び反対討論が活発に行われ、校舎改築（中庭ドーム付）工事の請負契約が賛成多数で可決されました。

【入札結果】

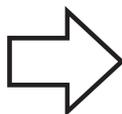
*価格については、消費税及び地方消費税を含みます 単位:千円

工 事 名	落 札 者	予 定 価 格	落 札 価 格
富津中学校校舎改築工事	大成・小島特定建設工事共同企業体	1,823,518	1,669,500
富津中学校校舎改築電気設備工事	福井・橋本特定建設工事共同企業体	215,374	204,750
富津中学校校舎改築機械設備工事	菱和・綜和特定建設工事共同企業体	207,897	197,505

◆工期については、契約締結の翌日から平成20年10月31日となっています



現在の富津中学校校舎



改 築 完 成 図

75歳以上後期高齢者の独自の保険制度が始まります

千葉県後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議について提案を受け、広域連合規約の内容（広域連合の名称、区域、事務内容、議会の組織、議員の選挙方法、執行機関の任期等）について審議を行い、全員賛成で可決されました。

後期高齢者医療制度について

- 制度の概要 被保険者：75歳以上の者及び65歳～74歳で寝たきり等の者
- 医療費の財源 自己負担：1割（現役並み所得者は3割）
給付費の財源：保険料（1割）、後期高齢者支援金（約4割）
公費（約5割（国：都道府県：市町村=4：1：1））
施行期日：平成20年4月1日



補正予算について

今回補正された主な事業



消防団詰所等整備事業
解体される8分団第1部詰所
(天神山地区)



文化財保護関係費
改修される弁天山古墳石室覆屋屋根
(中央公民館脇)



公共土木施設災害復旧事業
10/5～10/7の豪雨で災害にあった古船川
(佐貴地区)

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、または新設されたホームページ内で詳細をご覧ください。

市民が、安心して暮らせる生活環境整備について



鈴木 敏雄
議員

問 都市計画道路路北笹塚大貫線の進捗状況について。

市長 飯野地区基幹道路整備期成同盟会と共に、県に要望していく。

問 この路線の位置決定は、地権者に説明がなされているのか。

建設部長 昭和44年に計画決定され平成12年に案の縦覧を行い、住民に周知を図っている。

問 地権者が売却を希望する場合、市は先行取得していくのか。

建設部長 公払法を利用しながら宅地開発等により将来発生する移転補償との比較をし、その状況を見極めて先行取得をしていく。

要望 この道路は広域道路のネットワーク化であり、地域においても道路が狭隘であり、市街化区域でも開発行為も出来ない状況であります。県単事業であってもまち交、臨交、地域再生交等の補助金を精査して頂いて、早期着工を住民と共に強く要望をいたします。

問 本郷バイパスについて。

建設部長 19年度、県単道路改良事業として拡幅を検討中。

問 県道大貫青堀線の歩道設置についての考え方について。

建設部長 歩道設置の整備手法については、現地を精査し、県と協

議し要望していく。

問 やまと前交差点について。

建設部長 右折レーンを作ることが有効であるが、農業排水路の問題もあるので、調査、研究をして県と協議をしていきたい。

問 県道大貫青堀線と市道下飯野線交差点の信号設置について。

市長 交通量調査を年内に実施し、警察署に設置要望していく。

問 防災拠点となる消防本部庁舎の耐震診断結果は。

市長 昨年診断を実施したが庁舎の南北に対する揺れに強度不足があり、検討委員会を設置をし、改修、改築、移転新築について多角的に調査研究をしているが、早期に方向性を出したいと思う。



そば処やまと前交差点

環境行政・有害鳥獣対策・文化財の活用について



永井庄一郎
議員

問 産業廃棄物の不法投棄対策は何を行ってきたのか、その効果と投棄されたものの処理方法は。

市長 具体的な撤去方法の有無についての調査などを行い、早期撤去の可能性を検討している。今後

問 農水産物に対して風評被害が懸念されるがどう考えるか。

経環部長 そのような被害が発生しないように早期撤去に努めていきたい。

問 有害鳥獣のイノシシの被害が急速に拡大し農家にとって死活問題の地域もあり、対策の強化を図る必要があるのではないかと。

市長 県の補助制度を活用した銃器と檻で捕獲事業をしてきた。侵入防止用の電気柵の設置を行い被害対策に努めてきた。今後は、近隣市などと広域的な捕獲事業を行うことにより対策強化を図ることも必要と考えている。

問 有害鳥獣対策として千葉県に要望したことはどんなことか。

市長 千葉県中南部の市町村で要望活動を行い補助金の追加を補正予算で対応してくれるよう要望した。また、県全体としての対策と市町村間の連携ができるよう進め

てもらえるよう要望した。

問 イノシシから農作物を守るための電気柵は非常に効果的であるので補助を当分の間、続けられるかどうか伺う。

経環部長 予算の措置もあるが、続けていきたいと考えている。

問 市内に多くある文化財を観光面にどう活かしていくか。

市長 主な史跡や行事を写真や記事で紹介している。見学者の周遊ルートは、文化財ガイドマップ、ガイドブックを作成する中で検討していく。

問 案内板等の整備について。

教育長 案内、説明表示板はプラスチック看板に更新中で今後も年次計画により順次整備していく。



黄金井戸のヒカリモ



銅造地藏菩薩坐像

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。政策部長(総合政策部長)、福祉部長(市民福祉部長)、経環部長(経済環境部長)、水道者(水道事業管理者)

予算、学校教育、遊休農地の埋立について



福原 敏夫
議員

問 平成19年度予算の重点施策の考え方は。

市長 基本計画のいきいき富津5か年プランのうち、まちづくり交付金事業、道整備交付金事業、富津中学校校舎改築事業が中心となると考えるが、収支見込みを勘案し事業の選定をしていきたい。

問 第二次実施計画と財政需要の整合性をどう図っていくのか。

市長 基本構想で描く将来像の実現に向け、市民一人ひとりの満足度の向上を目指して行くも、収支の整合を図りながら施策の立案に努めてまいりたい。

問 公共的な建物に体外式除細動器の設置の考えはないか。

市長 運動関係の施設、人の集まる施設学校等は教育委員会が配置を含め、精査する必要があると思います。すし設置する方向で考えていきたいと考えます。

問 教育現場でのいじめの対応はどう行っているか具体的に。

教育長 教職員の研修の充実、学力向上、体験学習、道徳教育、教育相談に取り組んでいる。また、いじめについても命を大切にすし指導や家庭、地域と学校が連携しいじめの早期発見、早期解消に努

力しています。

問 遊休農地の埋立の現状は。

市長 富津市土砂等の埋立等による土壌の汚染及び災害の発生の防止等に関する条例により関係書類の審査並びに現場立会い等の確認し許可をしています。

問 排水についての市の考え方は。

建設部長 北側は君津富津広域下水道組合の雨水管に流している。

山王区画整理組合の土地は農業用の水として引き込みをしております。ここに管をいけ排出を考えています。また、富津中学校の改築工事に伴って側溝もやる予定になっておりますので、教育部と協議した中でこのものも排水に使えないかを含めて対応していきたい。



近年特に水はげが悪化し、12月26日の大雨により水没した富津中学校グラウンド

大堀地区環境の充実に ついて



平野 良一
議員

問 二間塚大堀線の開通を機に高速バスの増便ができないか。

市長 青堀駅を起終点としている君津・東京線より11便、下り11便が運行されている。人口の定着化や高速バス利用状況の推移を見極めながら検討していきたいと考えている。

問 路線変更については、今後とも市内及びバス事業者と検討を行うっていく。

問 バスターミナルの場所の選定について。

市長 運行状況や地理的要因から国道十六号系及び国道一二七号系について、平成16年に設置したバスターミナル検討会を軸にバス事業者と協議を重ねている。今後も費用対効果を含め、高速バスの利用状況を見据えながら整備の時期や場所の選定について結果を出したいと考えている。

問 粉じん対策の状況について。

市長 粉じん等の大気汚染問題については、去る11月21日に粉じん等の発生源と思われる大規模事業所に対し、市の要請により千葉県が夜間立入調査を実施した。市としても、市民の健康を考え、今月から粉じん等の測定箇所を増設し、

大気汚染に対する監視等の強化を図っている。

問 測定箇所の増設については、大堀二区集会場を予定している。

市長 高潮対策の状況について。

市長 今回の高潮は、予測された潮位よりも60センチメートルから70センチメートル程度高く、大堀雨水幹線の一部の護岸の高さを越えて直接宅地内に流入した箇所があったので、施設管理者と協議の上、護岸のかさ上げや雨水幹線に直接接続されている排水管の改良等を検討したいと考えている。

問 津波マップの作成について。

総務部長 洪水、高潮のハザードマップと大雨等の洪水時のハザードマップを作成する。計画で、建設部、総務部及び消防等含め検討している。



大堀地区の防災訓練

水道事業、学校施設整備、合併構想案について



岩本 朗
議員

問 第三次拡張変更事業について現在の進捗状況と平成18年度以降の見通しについて。

市長 事業の進捗状況につきましては、平成18年3月末現在で、事業費ベースで約55%、施設整備で約40%となったところであります。今後の見通しにつきましては、財政状況を勘案しながら早い時期に未給水区域解消が図れるよう努力してまいります。

問 第三次拡張変更事業が計画通りに進まない理由について。

水道者 計画を立てる時点で事業収益等、計画を見込んだ中で計画を立てていくわけですが、近年の節水意識の向上、色々な問題を含め、水道料金の減収で投資事業に回す費用が少なくなり、資金の手当ての問題から目標計画期間の達成が難しくなっています。

問 事業の見通しについて。



亀田浄水場

水道者 今までと同程度程度の拡張事業費を確保することが非常に苦しい状況が見込まれる中、事業期間を平成25年ごろということ引き延ばしてあります。

問 学校施設の補修に関する要望事項が51件ありますが、今後の進め方について。

教育長 各学校の要望事項を調査し、教育委員会で優先度を判断し計画的に進めてまいります。

問 要望事項に対し何年を目途に補修を行っていくのか。

教育部長 見積もり額から考えますと、2、3年は必要になってくると思います。

問 要望事項に対する補修計画の策定について。

教育部長 要望事項51件の内本年度中には、三割程度改善できるよいうに取り組んでいます。対応出来なかつた案件については、新年度から対応していきたいと考えています。

問 合併推進構想案について。

市長 市民の方々には、合併の情報提供を行なう一方、当面は行政の一層の効率化と併せ、広域行政を今後どのように進められるか検討していきたいと考えています。

有害鳥獣対策について



大野 裕二
議員

問 野生イノシシによる被害の内容と潜在的な被害の実態の把握は？

経環部長 被害内容は面積は17年度31・7ha、金額で一、六八二万円、〇〇〇円。潜在的な被害については把握していない。

問 イノシシが増えている原因は？

経環部長 強い繁殖力と、温暖な気候・餌となる作物が豊富な状況などが総合的に重なり合ったものと認識している。

問 住民からの直接的な相談は？

経環部長 週に一、二回程度、イノシシが出没して困っており、檻を設置できないかという相談がある。来年度は貸出用の檻を購入したいという予算を要求している。

問 貸し出す相手はどのように考えているか？

経環部長 要望があれば、捕獲に資格が必要なので、駆除隊に設置をお願いしたいと考えている。

問 緊急の場合など、市で直接檻を設置するなどの考えは？

経環部長 捕獲には資格が必要なので、駆除隊に出動願う以外の方法は無いという状況である。

問 資格があれば駆除隊でなくて

もいいという考え方もできると思うが？

経環部長 現在、駆除隊を組織している中で、駆除隊にやってもらいたいと考えている。

問 では、檻の設置先は市でポイントに指定して行えるのか？

経環部長 そういった事をやっていきたいと考えている。

問 現在の市の対策は協議会・駆除隊への委託のみだと思うが、現在の取り組みで駆除対策は充分間にあっているのか？

経環部長 充分とは言えない。

問 自分の土地に檻を設置する場合、協議会に所属すれば個人でも自由に駆除を行えるのか？

助役 協議会で駆除計画があり、個人的に活動するエリアの決め事もあると思うが、詳細は把握していない。話し合いで可能かと思う。

要望 イノシシの絶対数を減らす為に、イノシシを放すといった行為に対して

も罰則規定を設けるなどの措置も有効かと思うので検討されたい。



捕獲されたイノシシ

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。政策部長(総合政策部長)、福祉部長(市民福祉部長)、経環部長(経済環境部長)、水道者(水道事業管理者)

「人々がふれあい、支えあうまち」について



長谷川 剛
議員

問 市民福祉部としての市民サービスへの考え方は。

福祉部長 「職員意識の改革と市民の方々の視点」をキーワードにして、より具体的で実践的な行動基準「スマイル&ハート計画」を作成し実践していく。

問 基本健康診査・がん検診の取り組みについての考え方は。

福祉部長 健康は財産です。本年より35歳からの健診も実施した。さらに啓蒙活動に力を入れる。

要望 献血により基本健康診査と同様の検診結果を得られるので献血の啓蒙運動も展開して頂きたい。

問 本年10月より始まった肺炎球菌



日赤献血車

菌予防接種費用助成の利用状況は。
福祉部長 千葉県内では富津市と東庄町が実施している。現在四百七十人が利用しています。

要望 肺炎予防には非常に有効なので、さらなる事業進展を望む。

問 地域包括支援センター整備は。

福祉部長 来年4月1日開設にむけて準備を進めている。介護保健課の中に置き、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士と事務職を配置する考えです。

要望 地域包括支援センターは今後、介護予防の中心となるものです。機能が十分に果たせるように整備をしていただきたい。

問 君津中央病院の経営は。

福祉部長 本年4月より地方公営企業法を適用し専任の病院事業管理者(企業長)を中心に経営体制の構築をしている。

問 障害者自立支援法に伴う利用者負担に対する軽減策を富津市として独自策を考えているか。

福祉部長 いま国会で軽減策を検討中との情報もある。国の動向をみて考えていきたい。

要望 健康対策は今後ますます重要となりますので様々な施策の展開をお願いいたします。

二間塚大堀線開通に伴う問題点と父子手帳発行



澤田 春江
議員

問 二間塚大堀線開通に伴い「大堀第一踏切」が封鎖され、地域住民の生活環境に制限があり問題点が生じているが調査し、問題解決策を講じて欲しい。

市長 踏切封鎖の付け替え道路が整備され、また、問題解消のため、市道坂口線から榎新昭和宅地開発内の市道大堀東原2号線まで県が歩道設置、県と地元で協議する。

問 多くの問題点が生じているが高齢者、障害者に対する対策や問題の解決策を早急に講じて欲しい。

①歩道を自転車が走っているが、階段から降りてきた人と出会い頭に接触事故を起こす危険がある。

②階段の勾配が急で昇降時が困難。

③階段内の照明が暗く、街灯要望。

④スロープつき階段は高齢者や障害者への配慮がなされているか。

⑤封鎖により不法踏切横断で危険。

⑥鳥井戸線と坂口線の交差点の見通しが悪く危険。また、鳥井戸線、新昭和内への変則交差点の交通標識が不明確で危険である。

建設部長 ①歩道についてはまず歩道としての機能を考え、自転車通行に対しては安全確保を図るため、カーブミラーを県で設置する。②青堀駅側階段については状況か

ら改良は難しい。
③照明灯を設置する方向で進める。
④今後配慮された道路整備を実施。
⑤JRに安全対策を申し入れる。
⑥ワンランクアップのミラー設置。

問 青堀駅周辺の都市再生整備計画の進捗状況と青堀駅のトイレを水洗トイレにJRと話し合い改修の実現を図って欲しい。

市長 調査、設計の段階である。

政策部長 六つの駅の水洗トイレ化をJRに要望する。

問 少子化対策として父親の育児参加支援に「父子手帳」の発行を。

市長 父親の育児参加の推進から検討していく。

問 児童館として身近にある公民館、シニア館、集会所などを開放し、子育て支援を行って欲しい。

福祉部長 検討していく。



急な勾配の階段

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、または新設されたホームページ内で詳細をご覧ください。

平成十九年度の 予算編成の方針について



岩崎 二郎
議員

予算編成の基本方向は、平成18年度からスタートした富津市第二次基本計画「いきいき富津5か年プラン」で示されており、平成19年度の大きな事業としては、富津中学校校舎大改築、青堀駅を中心としたまちづくりなどが見込まれています。一方、歳入では、税制改正によって、定率減税の廃止による増収や国からの税源移譲など大きな変化も予測されます。

問 平成19年から、定率減税の完全廃止などにより、富津市民には増税、市には個人住民税が増収となりますが、この税増収分を予算編成にどう運用しようと考えているのか。

市長 健全財政を見据えた上で、



国の決定が市の予算にも、市民の家計にも影響します。

財源調整を図りながら諸施策の実現に向けた予算編成を進めていく。
問 定率減税の廃止などによる市の税増収額はいくらか。

財政部長 定率減税廃止(半額分)で九、六〇〇万円程度、高齢者の非課税限度額の廃止で一、〇七〇万円程度を見込んでいます。

問 国の三位一体の改革の影響について。

三位一体の改革は、国が地方分権を進めるとして地方に税源移譲すると引き換えに、本来国の責任で行なわれるべき福祉、教育のための国庫補助負担金を縮小・廃止し又、地方交付税を削減することで全体として、国の負担が軽減され、地方財源が削られています。

市長 本市への影響については、平成16年度〜18年度までの3年間で、国庫補助負担金の削減は3億円程度であったものの、国からの所得譲与税で吸収し、地方交付税については、不交付団体であることから影響はないところです。

問 乳幼児医療費助成を小学校入学前まで拡充することについて、来年度に実施の考えはあるのか。
市長 子育て支援の重要事業の一つとして拡充を検討していく。

ちばデステイネーション キャンペーンの取組みは？



藤川 正美
議員

問 平成19年2月〜4月までの「ちばDC(デステイネーション・キャンペーン)」について、市の対応は。

市長 このDCは、地方自治体と地元観光関係者などとJRグループがタイアップし、テレビや車内ポスター等により千葉県を集中的にPRし、全国から観光客の来訪を図る大型観光キャンペーンです。市としても、この特別企画の対応や、東京圏のJR主要駅へのキャラバン隊に参加しPRしています。

問 その他の具体策は。

経環部長 2月には蒸気機関車のD51が運行し、商工会等の協力でJR駅等の「花いっぱい運動」を進めます。また「房総おもてなし花のラインづくり」として、山中・六野地区に菜の花の種まきをしま



昭和21年(1946)の冬、画家・東山魁夷は、このJR内房線・佐貫町駅に降り立ちました。

した。3月は富津海岸の潮干狩り、4月は富津のアナゴをブランド化しよう準備しています。

また君津4市の施設を2カ所以上回ったら景品がもらえるスタンプリー、ホテル・旅館で「春の味覚祭り」として夕食に地酒お銚子1本サービスなどを企画しています。

問 国土交通省が選定した「関東の富士見百景」で、富津市から3カ所が選ばれているが、その広報はどのようにしてきたのか。

経環部長 観光パンフレットに掲載しました。

問 今回の「ちばDC」を機に、東山魁夷の観光ポスターを制作してはどうだろうか。九十九谷を描いた「残照」と、鋸山を描いた「晩照」に、それぞれ東山画伯が綴った「風景との対話」の文章を載せたものです。原画のある東京国立近代美術館から複写した写真を借り、継承者のすみ夫人に了解をとれば、40万円程度で印刷ができます。それを市内の施設や店舗に貼り出せば、富津市民には誇りを、市外の観光客には喜びを提供できると考えるが、どうか。
市長 検討させていただきたい。

富津市第一次実施計画、今後の進め方と優先順位、行政組織機構について



石井 志郎
議員

問 実施計画の施策と事業の成果の捉え方と優先順位の考え方は。
市長 成果の捉え方は住民満足度の向上に尺度を置く。市民のニーズを把握し、施策・事業を合致させ、コストを抑え、有効性を確保して施策を実施する。

問 地域環境、交通体系の整備、道路整備計画について今後の進め方と優先順位の考え方は。
市長 住民の意見、要望などを反映させた基本計画の事業を優先、状況の変化に応じた緊急性も勘案し、財政フレームとの整合を図りながら実施計画を策定している。

問 今回の機構改革の持つ意味と効率的な市政運営の考え方は。
市長 簡素で柔軟な組織体制、業務の繁閑差を解消、職員の一層の職務意欲の高揚、急速な社会環境の変化や多様化する市民ニーズに迅速・的確に対応が可能な組織体制に心がけた。例、市民福祉部を市民部と健康福祉部の二部に分割し、きめの細かい行政サービスの充実を図る。

問 富津市を南北に縦貫する道路の必要性と幹線一号、二号、三号の優先順位の考え方は。
幹線一号・二号を一部整備され



行き止まりの千種新田篠部境線

ている千種新田篠部境線で結び、岩瀬バイパス・佐貫バイパス・内房バイパスと結ぶ事で富津市が南北に接続されるのでは。

建設部長 南北に長い市域を縦貫する3軸を強化する必要がある。佐貫バイパスや内房バイパスを有機的に接続し幹線二号の優先的新設及び既存道路の改良等を進めた。

問 君津駅前から貞元まで道路が開通したが、富津市が接続道路(本郷バイパス)を建設することで大佐和地区、飯野地区の生活環境利便性が向上すると思われるが。
建設部長 幹線道路計画の南北軸と位置づけられ、強化すべき道路と認識している。君津市に働きかけ、引き続き県に要望していく。

政務調査費

富津市議会ではこのようになっています!

政務調査費は、議員の調査研究費として自治体が議員に交付するお金ですが、その使途基準や収支報告・情報公開の方法は各自自治体の条例・規則によりばらばらです。富津市議会の場合このようになっています。

使途基準は?

市政に関する調査研究のために必要な経費以外のものに充てることはできません。例えば、行政視察を行う場合、交通費や宿泊費は認められませんが、他の経費(食費など)は認められません。主な使途の例としては、行政視察の経費、資料の購入、インターネットの接続料などが多いようです。

交付対象は?

会派に交付されます。

議員個人ではなく会派に対して交付されます。富津市議会では会派は3人以上で結成されますが、政務調査費の交付対象としてのみ特別に一人会派も認められています。

交付金額は?

一人年間20万円です。

例えば、9名の会派の場合、年間20万円×9名＝180万円が会派に交付されます。

収支報告などはどうなっているの?

収支報告書は年度末までに議長に提出され、残額がある場合は返還します。

収支報告書は、提出後5年間の保存が義務付けられており、領収書等の証拠書類についても同じ期間会派の経理責任者が保管することになっています。

情報公開の基準は?

収支報告書の閲覧は誰でもできます。また、会計帳簿や領収書等の証拠書類についても、富津市情報公開条例に基づき原則的に公開となっています。

総務常任委員会



○期 日 平成18年10月23日(月)～25日(水)

○視察地 **新潟県十日町市** 情報化推進施策について (人口63,135人面積589.92km²)
長岡市 行政経営改革プランについて (人口282,214人面積840.88km²)
三条市 防災行政について (人口107,510人面積432.01km²)



委員 長 中後 淳
 副委員 長 長谷川 剛
 委員 嶋田 政市
 委員 高橋 謙治
 委員 岩崎 二郎
 委員 平野 明彦
 委員 永井庄一郎
 委員 岩本 朗

情報化推進施策について (十日町市)

合併した昨年以前から、6市町村の商工団体から「各家庭までの高速通信網整備」の要望を受け取組んで来ました。高速インターネット、告知放送(屋外拡声器・屋内端末機)、地域内電話、ケーブルテレビの整備を中心に情報基盤を確立し、情報を共有して地域の課題を解決しようとしています。

行政経営改革プランについて (長岡市)

昭和の時代から、「事務事業総点検運動」「一係一改善運動」「効率的な行政サービス」「市民が主役の行政運営」と取組んでおり、現在では、「市民満足度の向上」を目標に、組織の思考・行動転換や体質改善に向けて、民間企業の「経営」という視点を取入れて取組んでいます。

防災行政について (三条市)

平成16年の豪雨水害での教訓を得て、各種の情報収集と分析判断基準を数値化。情報の発信には、重層的なシステム(防災無線、緊急告知FMラジオ、携帯電話メール等)の構築を目指し取組んでいます。



視察説明を聞く委員



教育福祉常任委員会

○期 日 平成18年11月8日(水)～10日(金)

○視察地 **大阪府柏原市** 社会教育・保健・福祉の施策及び施設の整備 (人口76,350人 面積25.39km²)
奈良県大和高田市 保健・福祉の施策及び施設の整備 (人口72,613人 面積16.49km²)
奈良県天理市 教育元年事業・百歳天理事業について (人口70,191人 面積86.37km²)



委員 長 福原 敏夫
 副委員 長 澤田 春江
 委員 高梨 良勝
 委員 三平 正昭
 委員 鈴木 敏雄
 委員 鈴木 幹雄
 委員 藤川 正美

今回、3市の視察を通して痛感したことは、施設のハード面では、時代の変化に対応できるような柔軟性のある造りにすること。また、ソフト面では、住民の声を活かす運営の在り方を感じました。

特に柏原市では、施設が有効に利用され、市民も活発に活動を展開している姿に、多くのことを学びました。人口密度でも分かる通り、単純に富津市と比較はできませんが、市民福祉・生涯学習の理想を見た感じでした。いよいよ富津市においても複合施設の懇談会が発足し、動き始めました。私達も、これらの視察経験を活かしながら真剣に取り



柏原市の健康福祉センターを視察するメンバー



組んでまいります。また、今回の視察には教育部の複合施設建設推進課の萱野課長も同行しました。センターでは、ちょうど救命の講習が開かれており、多くの市民が熱心に受講していました。

建設経済常任委員会

○期 日 平成18年11月7日(火)～9日(木)

○視察地 秋田県男鹿市 産業開発と雇用開発について

(人口36,258人 面積240.80km²)

横手市 地域産品マーケティング推進事業等について (人口133,654人 面積693.60km²)



委員 長 長谷川恒夫
副委員 長 大野 裕二
委員 平野 隆司
委員 平野 良一
委員 小林 新一
委員 竹内 洋
委員 石井 志郎

産業開発と雇用開発について (男鹿市)

<なまはげの里「男鹿半島」地域再生プラン>

年間200万人を超える観光客をターゲットにした、観光・農林水産分野における新たな事業展開を見出すため、地域に賦存する豊富な資源を活用した観光サービスや付加価値をつけた特産物の開発、促進販売、地元食材の提供や「なまはげ」行事などの伝統文化情報の発信をしていきます。また、観光プログラムの企画立案新商品販売の促進のためのイベント企画のできる中核的人材の育成を図る予定です。

地域産品マーケティング推進事業について (横手市)

マーケティング推進課を新設し、「売れるまちづくり」を目標に、地域の皆さんにお手伝いすることで地元産の「モノ」に光をあて、全国から注目されるような産地・まちづくりを進めています。今年度は、地域のお母さんたちが昔からスイカを煮詰めて作っていた「スイカ糖」を「粋果の雫」として全国に売り出しました。



視察説明を聞く委員

東京湾口道路建設促進 議員連盟研修会

○期 日 11月21日(火)

○研修場所 横須賀市の平安閣

富津市議会の東京湾口道路建設促進議員連盟と横須賀市議会の東京湾口架橋建設促進議員連盟が研修会を開催し、東京湾口道路建設促進調査状況と架橋の構造等について、海峡横断道路調査会 技術部長 杉田卓男先生の講演を受けました。



千葉県南12市の議長会 による議員研修会

○期 日 11月13日(月)

○研修場所 茂原市市民会館

県南12市(木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、館山市、南房総市、鴨川市、勝浦市、茂原市、東金市、山武市、いすみ市)の市議会議員が集まり、「自立した地域の創造に向けて」と題して、穂坂邦夫先生(NPO法人、地方自立政策研究所理事長、元埼玉県志木市長)の講演を受け、地方自治のあり方を研修しました。



成人式



皆さん、おめでとう！

1月7日(日)午後1時30分より、富津公民館にて盛大に「富津市成人式」が開催されました。当日の対象者は、585人(男297人、女288人)で、出席者は491人(出席率83.9%)で、再会の喜びも交わり、華やかな雰囲気にも包まれました。

内房バイパス開通



内房バイパスは、計画から20数年の歳月と総事業費約38億円をかけて昨年12月18日に開通しました。湊地区街中を通らずに、今までの約半分の2kmでバイパスするこの通路により、慢性化していた渋滞の解消と歩行者の安全を確保することができました。

社会福祉大会



記念講演する中山恭子氏

1月20日(土)富津公民館において、第26回富津市社会福祉大会が行われました。式典では、社会福祉協議会表彰及び感謝状の贈呈が行われ、望みの門新生舎による「よさこいソーラン踊り」が元気よく披露された後、内閣総理大臣補佐官 中山恭子氏の記念講演が、多くの市民が参加する中で行われました。

出初式



一斉に放水訓練

出初式は、約340年前の振り袖火事を契機に上野東照宮前で氣勢を挙げて以来、全国で受け継がれて来ました。本年富津市では消防団員、消防署員、企業消防隊560人、23台の車両が参加して1月14日に行われました。

火入式



アスファルトプラントの全景

館山自動車道君津IC～富津中央IC間舗装工事の安全祈願祭及びアスファルトプラントの火入式が挙行されました。

賀詞交歓会



あいさつする嶋田議長

1月6日午前11時より富津市役所ロビーにおいて平成19年富津市新春賀詞交歓会が市・議会共催で行われました。

行政改革に関連して、PPP(パブリック・プライベート)・パートナーシップという言葉が盛んに使われている。さまざまな定義、分類はあるようだが、民は、市場で競争させることによりその長所が現れるし、官は、情報公開、議会といった民主的コントロール下におくことにその存在意義がある。官民の組合せは、見方を変えれば、効率と民主的コントロールの問題でもある。それぞれの特性をうまく行政に生かすべきではないかという主張がPPPである。官民の特性を生かしたPPPを展開していく必要があるだろう。(朗)



27日(火) 10時	議会審議
20日(火) 10時	議長報告
19日(月)	予算特別委員会
16日(金)	委員会
15日(木)	委員会
14日(水)	委員会
9日(金) 10時	一般質問
8日(木) 10時	一般質問
5日(月) 10時	議案質疑
3月	議案の上程
2月26日(月) 10時	開会

ぜひ、議会を傍聴に
3月定例会日程予定